

長岡地区納税貯蓄組合連合会 会長賞 優秀

税の大切さ

長岡市立大島中学校

三年 安川 明花音

私が税金と聞いて身近に感じていたものは消費税だけでした。税抜き価格が大きく書いてあり、お金が足りなくて困ったことがあるので税込み価格を大きく書いてほしいなと思っていました。そのくらいしか税に関して考えたことはありませんでした。

今回、私にとって身近な税金は他に何かあるだろうと調べてみました。すると、とてもたくさん種類の税金があつて驚きました。例えば、学校ではまず、校舎、教科書、それに給食などさまざまなところで税金が使われています。税金があるから学校で学んだり、遊んだりできているのだということが分かりました。学校だけでなく、公園や図書館なども税金でつくられていることが分かりました。小さな頃のアルバムを見ると、公園で楽しそうに遊んでいる自分の写真がたくさんありました。幼稚園に入る前は毎週、図書館で絵本を読んでもらったり、手遊びをしてくれるお話し会に行っていたことを母から聞きました。私は小さかったので全部のことは

覚えていないけど、税金に支えられて成長したのだなと思いました。

そして、更に税の決算書をネットで調べてみると、国際交流にも税金が使われていることが分かりました。うちは、私が小学六年生の時にホームステイを受け入れたことがあります。ホノルルから来た高校生のお姉さんと二泊三日、一緒に過ごしました。英語は少しの単語しか知らなかったけど、とても仲良くなれました。好きなものや趣味の話をしたり歌と一緒に歌ったりして、あとはジェスチャーなどで気持ちを伝えることができたのでとても嬉しかったです。でも、英語が話せたらもっと色々な話ができると思ったので英語を勉強するのが楽しくなりました。このように勉強したい気持ちを引きつけてくれたことにも税金が関わっていることが分かり、驚きました。そこで、どのような人が税金を納めているのか調べてみました。主には働いている人が支払っていることが分かりました。そして、消費税や所得税や住民税も同じように誰かの役に立っていると知り、嬉しく思いました。しかし、私がお店で払うお金は自分で働いて得たお金ではありません。今、税金によって支えられ、学べることに感謝し、たくさんこのことを経験して数年後には自分が働いたお金で納税して社会の役に立ちたいです。

税金について知ることには社会のしくみを知ることにつながると思います。税金とは皆が豊かな暮らしができるようにあるのだと思います。支えられ、支える、社会を繋ぐ大切な輪のようなものだと思います。